



JA
広報

そらちみなみ

新年号

2012 Vol. 36

明けましておめでとうございます

組合員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年もご家族皆様が健康で良い年でありますようご祈念いたします。

平成24年 明るく新春を迎えて



代表理事組合長
大友 伸彦



代表理事専務
中島 孝幸

新年あけましておめでとうございます。新たな年が健康で明るく、活力に満ちた年になりますよう、組合員と役職員一同心よりご祈念申し上げます。また旧年中は農協事業へ特段なるご理解とご協力を頂き、改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて昨年を顧みますと、まず3月11日には東日本大震災が発生し、被災された多くの方へ、心より哀悼の意と心からのお見舞いを申し上げます、さらに組合員各位から寄せられた被災地の対するご支援に改めて感謝を申し上げます。さて昨年の作況状況は春先の長雨で、は種・移植作業は大幅に遅延し、秋の収穫時期も長雨が続き、特に小麦・馬鈴しょ・玉葱・ビートなどの畑作物は、6月以降その遅れを挽回出来ずに結果的に大きな減収となってしまいました。水稻については移植が遅れたものの、その後の天候により、収量は平年を大きく上回り、くず米も少なく、低タンパク米も多く出荷され、近年になく質・量とも豊作となり、昨年大きく下落した米価も回復したところであります。

一方、農業を取り巻く状況は、11月ハワイで開催されたAPECの前

日に、野田総理はTPP交渉参加に向けた協議に入ると表明しました。全国の知事会や市町村会の約8割が反対または慎重な対応を要請したにもかかわらず、国民に対する十分な説明も議論もないまま国際社会に表明したことは、我が国の食料安全保障や農業・地域経済そして医療・雇用・保険など、国民の「くらしといのち」を軽視する政府の決定は誠に遺憾で極めて憂慮される事態です。農業の先行きに対する不透明感がますます強まり、担い手の営農意欲が大きく損なわれる「TPPへの参加・批准」に対する反対運動は、まさにこれからが正念場であり、今後オール北海道で一致団結し「絶対阻止」に向けた行動を引き続き強力に展開いたします。

農協は組合員各位のご協力のもと、本年1月末で合併3年目の決算を迎えます。昨年の湿害などの影響もありますが、経費節減などを徹底し、当初の事業計画に近づくよう、役職員が一丸となり事業を進めています。また昨年栗山地区の小麦サイロ新設工事も国や町のご支援を受け昨年末に立派に完成し、本年よりフル活用を図るとともに、生産資材では土壌診断に基づく独自銘柄肥料試験や、新たな奨励策を拡充して、更なる組合員のコスト低減に努力して参ります。

また今年は次期3カ年計画樹立の年であり、政府が示す「我が国の食と農林水産業の再生のための基本方針・行動計画」など各種の情報を整理して、地域農業の持続的な発展を目指す3カ年計画を、この冬期間に策定し、3月の農協懇談会に提示して参ります。

農協は「組合員の営農と生活を守り地域に貢献する組織」であります。そのために本年も組合員とともに英知を結集して、この難局を乗り切って参りたいと考えていますので、引き続き深いご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に今年こそ豊穡の秋を迎え、本当に明るい年を組合員と役職員が共に喜び合える年となりますよう、心よりご祈念申し上げまして新年のご挨拶いたします。



平成24年年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔 章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成24年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先には低温・日照不足等による生育の遅れが心配されましたが6月には天候が回復に向かい、降雹被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には平年に近い出来秋となりました。

さて、東日本大震災から9箇月以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておらず、また原発事故の収束にもめどが立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々を抱えています。JAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組みが必要で

す。

また、環太平洋連携協定(TPP)に関しJAグループ北海道は、与野党国会議員に対する要請を行い、昨年11月4日に札幌市で「ともに考えよう『この国のかたち』TPP交渉を考える道民集会」を開催しました。野田首相がAPPECに向け「交渉参加に向けて関係各国との協議を開始し、各国がわが国に求めるものについて、さらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点に立ってTPPについての結論を得る」との方針を表明したことは、議論が全く成熟していない段階での見切り発車の何ものでもなく、JAグループは北海道として強く抗議しました。この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。お金を出せば食料を確保でき

る時代ではなく、経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心を損なう国政はあってはなりません。今後ともTPP交渉参加の正式表明を断固阻止するため、国民的理解の熟成に向け北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は『協同の力で築く』あすの食をささえる北海道農業』を主題に開催した第26回JA北海道大会の実践最終年を迎えます。大会決議事項の「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。JA経営では「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」の実践によって、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。また、国連は平成24年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピールしていきましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年を迎えて

そらち南農協青年部長

橋本 尚彦

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をご健勝で迎えられました事を心より御慶び申し上げます。また平素より私達青年部活動に対しまして多大なるご理解とご協力賜り心より厚くお礼申し上げます。年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界各地で異常気象が原因で被害が多発している中、我々の日本全国でも被害が増加した年となりました。

そらち南管内では1月に2週間にわたり降り続いた大雪の影響で、管内でハウス、倉庫の倒壊被害が何件も起き、越冬作物への影響が報告されました。雪解け後、春先には長雨の影響により玉葱、ジャガイモの定植の遅れ、また8月下旬からの長期にわたる天候不順により畑作物への影響は絶大で収穫時期が大きく遅れ、収量の減収、品質の低下が起きてしまいました。

また皆さんの記憶にも深く刻まれた、3月11日の東日本大震災。M7.9という今まで想像をしたことの無い地震の被害、TV、新聞等で連日報道されました。北海道にいながらも被害の大きさに衝撃を受けました。

また福島原発の放射能事故、地震の影響から起きたこの問題は見えないう敵、放射能が今も深刻な問題となっています。放射能による風評被害が北海道へもきていることは否めません。消費者への安心・安全を胸に頑張ってきましたが、今や日本の農業が危機を迎えています。またその不安を増大させているのがTPP問題。2010年10月に突発的に前内閣からの発言から始まったTPP問題。現内閣は我々国民に詳しい説明も返答もなく2011年11月、APPECの場で参加表明をいたしました。関税撤廃の例外措置を認めないTPPに参加すれば、食料自給率は大幅

に落ち込むことは間違いなく、農業を営む我々にも大打撃を受けることは間違いありません。JAGグループを筆頭に我々青年部も断固反対を訴え続けていく決意です。

日本の農業を元気にするため、全道青年部一丸となり「絆」を胸に農業の発展と繁栄を誓い営農に勤めてまいりたいと考えています。

昨年の青年部活動を振り返ってみますと、我々そらち南青年部は盟友が一丸となり今できることを活動し消費者へそらち南の農産物をアピールして参りました。

2月にはスノーメッセージ「ECO米スター」を掲げ、北海道を代表とする新米ブランド、ゆめぴりかを多く作付しているそらち南をアピールしました。本年度の北海道の米の作況指数が105、南空知も105と発表されました。天候不順のため畑作物の作付、収穫に大きく影響を受けた年でしたが、水稲は7月の天候の回復により、昨年多く見られたいもち病も少なく、豊作の年となり、品質のよい米の出荷、収量を得ることができました。

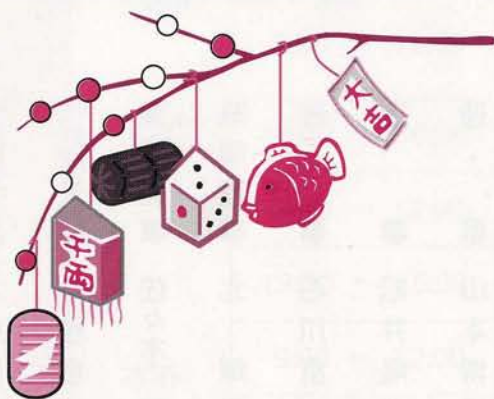
7月には白石区民ふるさと祭り、9月にはホンダカーズ札幌農産物PRを実施し、盟友のご協力を頂きたくさんの消費者の方へそらち南の農産物を提供、PRをすることができました。また空知管内の各単組の盟友との交流を大事に考え、部長会議、空知青年部大会、全道青年部大会等の参加、8月には、JAみねのぶ祭り、JA美唄祭へ参加させて頂き、交流を深めてまいりました。同年代の各単組との交流は色々な経験と意見を素直に交流できる場として、とても刺激になり、今後の営農に生かそうと考える時間を過ごせました。例年の事業である食農教育事業については、栗山支部では白石区青少年育成協議会を招き、細山拓也氏圃

場にて田植え、稲刈り体験ツアーを行い、由仁支部では小学5年生を対象に、北野康幸氏圃場にて田植え、稲刈り体験、三川支部では三川小学校全校児童を対象に、各学年で違う野菜の定植から収穫の体験を行いました。泥にまみれながら、楽しんで頂いた姿をみて我々青年部盟友も実施してよかったですと実感しました。

農業情勢は益々厳しい時代へと向かっていますが、我々青年部は、地域住民と農業を基盤とした豊かな地域社会を築く為、生産性の高い農業の確立と所得確保対策を求め、より安全で安心な農畜産物の生産と「食と農の大切さ」を訴えていく為に、盟友一丸となり総力を結集し、今後の事業の継続と青年部の歴史を築いてまいりたいと考えています。

このように様々な青年部活動ができたのも、盟友の協力は勿論のことですが、何よりも盟友のご家族、そして関係機関に皆様・諸先輩の方々に深いご理解とご協力があったからこそと思っています。新年度の青年部事業推進にあたり、昨年同様にご指導・ご鞭撻の程をよろしく願います。

結びとなりますが、皆様を始め、ご家族がご健勝で豊穰の秋を迎えられることを心よりご祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

そらち南農協女性部部長

高畑 春代

新年明けましておめでとう御座います。

平成24年の輝かしい新春を迎えられた事をお慶び申し上げます。

部員の皆様には、ご家族と共にご健康でお迎えの事と存じます。

さて、昨年を振り返りますと1月の大雪、3月11日の未曾有の東日本大震災は、大津波といつ終息するか分からない原発災害それらを見たとき、普通の生活がどんなに幸せなのかを改めて知らされました。春先の長雨による収穫の遅れ、畑作・野菜においては、大きな打撃を受けました。

しかし、水稲においては、豊作ということではあった所でありました。

また、首相のTPP交渉参加に向けて協議に入る事を表明され、この国はどこへ向かうのか不安になります。

農業は、医療は、保険、介護と考えると、いっそう不安になります。でも、そうも言っていられません。これからの流れを注意深く見つめ進む道を見極める事だと思っています。

そらち南女性部も、3年を過ぎ互いの交流が進み各事業に対して参加者が増えつつありますこれも皆様のご理解とご協力のたまものと感謝する次第です。

これからも互いの交流を深め、自分磨きの場所でありたいと思います。

本年が、皆様そしてご家族が健勝で豊穰の秋を迎えられる事をご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

今年もよろしく お願いいたします

JAそらち南 役員

代表理事組合長 大友伸彦
代表理事事務 中島孝幸
常務理事 佐々木 禎
筆頭理事 北 輝男
理事 事 石川富夫
理事 事 松井隆典
理事 事 山本博行
理事 事 細山孝一
理事 事 国田俊幸
理事 事 橋場一敏
理事 事 清水哲雄
理事 事 高嶋雅彦
代表監事 國岡正好
監 事 萩生田祥潔
常勤監事 松岡 裕
員外監事 角田伸慶

そらち南農協青年部

部 長 橋本尚彦
副 部 長 細山拓也
副 部 長 吉本聖二
書記 長 上田喜也
事業部長 水上秀樹
事業部長 南 洋一
監 事 名内稔弘
監 事 川合央記
部 長 高畑春代
副 部 長 窪田智子
副 部 長 川崎幸子
監 事 杉本信子
監 事 大野美代子
委員 長 羽賀直文
副委員 長 大塚敏史
書記 長 山田正人
総務部長 井内 猛
農政部長 森長正徳
経済部長 杉本淳久
組織部長 河端英利
事務局書記 青山佳代子

栗山町農民協議会

委員 長 藤本光行
副委員 長 山本 強
副委員 長 鳥村正行
書記 長 大久保明義
書記次長 寺 雅彦
事務局 渡辺千賀子
理 事 長 椿原紀昭
副理 事 長 中島孝幸
事務局 長 島 雅昭
事務局次長 福田伸明
支 所 長 佐々木右治
地域第一係長 阿部達男
地域第二係長 国枝尚書
専門普及指導員 猫塚久美子
専門普及指導員 平門隆良
専門普及指導員 八重樫有紀
専門普及指導員 上原智子
専門普及指導員 富田信夫
調 査 員 増澤宇一
調 査 員 岡野 理

JAそらち南「ゆめびりか」生産組合

組 合 長 南坂明憲
副組合 長 岩崎俊博
副組合 長 大塚史明
監 事 中谷 保
監 事 吉野弘恭

そらち南減農薬米生産組合

組 合 長 梅田健一
副組合 長 瀬尾正樹
副組合 長 石川義晃

監 事 尾上敬二
監 事 井澤雅彦

そらち南農協米作研究会

部 会 長 塚本政紀
副 会 長 青木 悟
会 計 長 尾尾卓也
監 事 川畑憲吾
監 事 橋本克己

そらち南協栄診療所施設 栗山地区 運営委員会

委員 長 大友伸彦
副委員 長 石川富夫
副委員 長 松田一博

そらち南協栄診療所施設 栗山地区 運営委員会

委員 長 大友伸彦
副委員 長 中島孝幸
副委員 長 北 輝男

そちら南農協表焼燗製施設 由仁地区 運営委員会

委員長 石川 富夫

副委員長 高嶋 雅彦

そちら南農協表・大豆焼燗製施設 釧路地区 運営委員会

委員長 大友 伸彦

副委員長 中島 孝幸

副委員長 北 輝男

そちら南表・豆類採種組合

組合長 芦 沢 功

副組合長 藤田 淳

副組合長 笹谷 和広

会 計 荻野 一彦

監 事 井内 弘

監 事 井波 俊一

そちら南農協てん菜振興会

会 長 重田 順栄

副 会 長 砂田 正春

監 事 清野 隆良

監 事 沢田 雅文

南空知玉葱振興会

会 長 西田 秀樹

副 会 長 前田 透

副 会 長 村口 学

会 計 森出 義弘

監 事 西山 健治

監 事 岩崎 俊博

JAそちら南由仁まごころ玉葱部会

会 長 黒田 良行

副 会 長 岩崎 俊博

会 計 水野 宏哉

監 事 鳩 滋

監 事 佃 隆光

南空知南瓜振興会

会 長 川端 敦

副 会 長 吉田 義昭

副 会 長 鈴木 善友

会 計 村上 和繁

監 事 辻谷 尚希

監 事 岡本 勝幸

栗山町「栗マロン」研究会

会 長 柴田 重夫

副 会 長 井波 俊一

副 会 長 川浦 慶一

会 計 桜間 弘晃

監 事 佐藤 貞男

監 事 佐藤 好美

グリーンヒル生産振興会

会 長 溝口 馨

そちら南農協食用馬鈴薯部会

部 会 長 浅川 景德

副 部 会 長 橋本 尚彦

会 計 吉野 弘恭

監 事 森本 淳

監 事 大塚 敏史

そちら南農協加工馬鈴薯部会

部 会 長 大島 敏弘

副 部 会 長 砂田 正春

会 計 羽賀 文恭

監 事 小松 豊和

監 事 沢田 裕

そちら南ジャガキッズ研究会

会 長 斉藤 栄吉

副 会 長 南坂 明憲

会 計 清水 清

監 事 高野 博康

監 事 元田 隆

そちら南農協栗山地区種馬鈴しよ共選運営委員会

会 長 大友 伸彦

副 会 長 中島 孝幸

副 会 長 正井 文雄

副 会 長 橋場 一敏

そちら南農協由仁地区種馬鈴しよ共選貯蔵施設運営委員会

会 長 石川 富夫

副 会 長 高嶋 雅彦

副 会 長 田中 勲

そちら南農協種馬鈴しよ協議会

会 長 田中 勲

副 会 長 橋場 一敏

監 事 北 輝男

監 事 原田 政信

会 長 田中 勲

副 会 長 原田 政信

監 事 横井 弘一

監 事 鷹 修

栗山町種馬鈴薯採種組合

組 合 長 正井 文雄

副 組 合 長 橋場 一敏

会 計 日置 正敏

監 事 北 輝男

監 事 芦沢 功

そちら南農協長葱部会

会 長 棚村 優

副 会 長 中嶋 常隆

副 会 長 長尾 康司

会 計 川崎 浩樹

監 事 角 昌幸

監 事 上原 晃一

そちら南農協軟白長葱部会

会 長 井沢 雅彦

副 会 長 水木 稔

監 事 北村 正信

そちら南農協ほうれん草部会

会 長 水上 信市

副 会 長 池田 茂幸

監 事 和泉 満

南空知花き生産組合

組 合 長 田中 秀幸

副 組 合 長 工藤 正

副 組 合 長 浜 雅文

副 組 合 長 真保 敏昭

監 事 国田 俊雄

監 事 細田 保治

そちら南農協花き生産組合

組 合 長 木戸 博文

副 組 合 長 刈野 巖

会 計 石田 博之

監 事 中村 正弘

監 事 中山 邦夫

そちら南農協ピーマン部会

会 長 杉本 誠一郎

副 会 長 岩崎 政芳

監 事 内田 雅博

監 事 中川 貞男

くりやまメロン生産組合

組合長 田村 毅

副会長・会計 清水 栄一

監事 清水 一郎

監事 北村 正信

由仁ナチュラルメロン組合

会長 森田 斉

副会長 金山 和則

会計 橋本 尚彦

監事 吉本 好孝

監事 熊林 重春

そらち南農協キャベツ部会

会長 雨野 俊正

副会長 巢守 章文

副会長・会計 河端 英利

監事 蛇谷 靖

そらち南農協トマト部会

会長 松本 俊一

副会長 水内 正博

会計 奥野 貴司

監事 太等 秀幸

監事 小野 寺均

そらち南農協アスパラガス部会

会長 清水 哲矢

副会長 大坪 竜樹

会計 菅野 寿

監事 上原 晃一

そらち南農協いちご部会

会長 青山 正志

副会長・会計 川畑 憲吾

監事 岩崎 芳延

そらち南農協苺苗部会

会長 山本 強

副会長・会計 西山 隆

監事 中島 孝幸

栗山町農業経営研究会

会長 藤島 浩吉

副会長 藤田 淳

副会長 清水 治広

会計 荻野 一彦富

監事 藤柳 一哉

監事 塚本 政紀

由仁町ホイルトラクター連合会

会長 原田 政信

副会長 上野 義信

副会長 上田 喜也

会計 村上 和繁

栗山町耕土改良事業協会

会長 山本 強

副会長 水上 忠信

会計 長澤 哲哉

監事 南部 政幸

監事 高橋 浩一

そらち南RH防除組合

組合長 寺 雅彦

副組合長 長尾 卓也

会計 片山 肇

監事 清水 治広

由仁町農業再生協議会

会長 竹田 光雄

副会長 大友 伸彦

監事 大畠 敏弘

監事 西村 明博

栗山町農業再生協議会

会長 椿原 紀昭

副会長 中島 孝幸

監事 田村 繁則

監事 桂 一照

栗山町米麦改良協会

会長 中島 孝幸

副会長 北 輝男

副会長 萩野 一彦

副会長 堀田 博

監事 藤本 光行

監事 青山 悟

由仁町米麦改良協会

会長 大友 伸彦

会長代理 石川 富夫

副会長 鶴田 健一

副会長 羽賀 直文

監事 龍方 利忠

監事 田中 範之

そらち南農協水稻直播部会

会長 元木 斎

副会長 賀集 優彦

会計 寺 雅彦

監事 東 澄

そらち南酪農協議会

会長 熊林 和男

副会長 倉知 修

理事 大西 康人

理事 三谷 耕一

書記 三谷 孝裕

監事 黒澤 耕一

監事 権平 敬保

そらち南乳牛検定組合

会長 権平 敬保

副会長 三谷 耕一

書記 馬場 敏

監事 倉知 修

監事 細田 治憲

そらち南酪農ヘルパー利用組合

組合長 黒澤 耕一

副組合長 亀田 壮将

書記 大西 康人

監事 熊林 和男

監事 三谷 孝裕

そらち南和牛生産組合

組合長 蛇谷 靖

副組合長 大櫛 和矢

理事 仁平 拓一

理事 横井 弘一

監事 大井 賢治

そらち南農業協同組合

参事 齊藤和邦

監査室

監査室長 高崎泰彦
監査課長 白勢 強

管理部

管理部長 中川 昇
管理次長 鳴海秀樹
管理課長補佐 永山隆史
管理係主任 嶋田由恵
管理係 飛渡弘美
赤尾千春

企画審議課主任

佐々木博文
加納恵子

金融部

金融部長 松村敏生
金融次長 工藤直行
金融課長 山川峰徳
融資係長 平田尚美
貯金係 清水紀子
菊地静香

《山本聖恵》
《秋原椎名》

経営相談課長補佐

経営相談係長

経営相談係

販売部

販売部長 高尾洋二
米麦畜産課長 清水邦晃
米麦畜産課長補佐 西澤克美

共済課長 本田 隆
共済係 森 政徳
小林宏美
石黒梨奈

《有塚由美子》

渉外係長 吉尾由美子
渉外係 角屋卓実
村上大

事故サービス係 松田夢希
高橋隆二

営農部

営農部長 佐藤好則
農業振興課長 佐野 滋
農業振興係 高田祥太
富樫真由
高橋慎治

《小林立子》

営農指導課長 棚田和也
営農指導係長 酒井隆次
當摩直樹
鈴木貴子
鈴木秀次

技術アドバイザー 尾崎政春

米麦係長 山内一広
米麦係主任 馬淵亮介
米麦課審議役 大田義治
米麦係 吉田 拓
矢萩 健

畜産係長 田村修司
畜産係 宮本佳明
稲田律子

馬鈴しよ玉ねぎ課長 岩崎 孝
馬鈴しよ係長 佐藤幸博
馬鈴しよ係 加藤大典
藤本雄太

玉ねぎ係 鈴木俊行
鈴木由美子

野菜花き課長 向井敬祐
野菜花き課長補佐 稲田昌史
野菜花き係長 岩崎慶司
管原尚泰

野菜係 大湊寿隆

花き係 佐藤千尋

生産資材部

生産資材部長 八巻広一
生産資材課長 高倉隆幸
資材係長 後藤将孝
資材係主任 山田典正
資材係 立花一男
小野寺 歩
橋場このみ

農業機械係

《桜井淳平》
《中川裕希子》
吉田敏弘
《中村幸夫》
《柳本由子》
《佐藤英夫》

由仁支所

技術指導嘱託 中田政行
由仁支所長 井上 聡
金融共済課長 市川尚巨
金融共済課長補佐 藤本由香
金融係 井上ちひろ

共済係

《山口愛祐美》
《今村栄子》
《村上 奨》
《齋藤佳純》
《辻本秋男》

由仁営農センター

中仁営農センター長 高橋 浩
中仁営農センター長補佐 西村嘉博
営農係長 柄澤公英
営農係 稻毛保之
高橋有宇
《富澤演枝》
《北川美津穂》

販売係長 高橋 正
販売係 秋村 聖
《安川美穂》

資材係長 村本 守
資材係長 久保良幸
資材係主任 長澤綱士
資材係 滝本祐輔
村田佳隆
菊池あすか

三川出張所

技術指導嘱託 中村勝博
《鳥井成人》
《鎌田砂千子》
《矢野忠憲》

三川出張所

三川出張所長 鈴木澄雄
金融共済係主任 芝山まゆみ
金融共済係 細川 育
佐藤陽子

金融係

《山崎俊英》
《村中由香里》
《三原結花》
《山崎美貴》
高橋邦房
古賀聖都
《安達さとみ》

資材係長 高橋邦房

資材係 古賀聖都
《森下加奈》
成瀬陽一
島 雅昭
栗山農業振興公社出向
由仁土地改良センター出向

代表取締役社長
専務取締役
常務取締役
総務部長
総務係主任
総務部総務係

酪農ヘルパー

業務部長
Aコープ中店長
Aコープ中仁店

Aコープ三川店

大友伸彦
中島孝幸
山崎了次
宮川哲也
小林美咲
中井美希
武岡宏美
押切スエ子
本堂みゆき
花田久子
高崎輝子
田中悠基
島和樹
倉知 斉
田中明敏
白井好満
増田年保
坂田保彦
當摩由利子
立原寿美子
松本奈緒子
加藤明美
錦古里伸子
富澤紀代美
橋場ゆうか
大石啓子
中村真由美
矢野根陽子
岩部由江
中村みふ子
佐藤みや子
松尾香奈
鎌田七美

Aコープ継立店

栗山給油所所長
栗山給油所主任
栗山給油所係

由仁給油所所長
由仁給油所主任
由仁給油所係

岡村淑江
北村美穂
橋場君夫
傳庄喜久夫
吉井雅哉
佐藤 満
西山裕哉
中嶋美穂
小田島茂樹
鎌田敏雄
吉江友美
宮本 孝
成澤美帆
島崎 卓

(一) JA正職員(出向)

『』 JA準職員

【】 JA嘱託

《》 メリーワーク正職員(出向)

「」 メリーワーク嘱託

へ」 メリーワーク臨時

(一) メリーワークパート

JA

職員 107名

準職員 5名

嘱託職員 4名

メリーワーク

職員 20名

嘱託職員 6名

農協地区別懇談会開催

11月28日から12月1日まで農協地区別懇談会が各自治区で開催されました。

今回の懇談会では組合員勘定の保証締結の見直しに関する事と平成23年度災害に係る特別金融対策、そして平成24年度営農計画書などについて重点的に説明があり、出席された組合員の皆様からは様々なご意見・ご質問をいただきました。

年末・年始を控えて何かと忙しい時期ではありましたが、今回は411名の皆様にご出席いただきました。

各会場で出席された皆様からいただいたご意見・ご質問および回答を取りまとめ、なるべく早くに皆様に文書で報告させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。



11月30日 富士・中里・栗山他



12月1日 熊本

青年部海外農業視察研修報告

J A さらち南青年部書記長 上 田 喜 也

空知 J A 青年部海外農業視察研修が10月30日～11月5日まで行われ、当 J A から上田書記長と南事業部長が参加しました。

昨年実施されました第23回空知管内海外視察研修に、そろち南青年部より、私上田、南君で参加させていただきました。またこの度の研修にあたり、私は今回の海外視察研修で、団長という大役を仰せつかることになり、身の引き締まる思いと責任の重さを痛感した所でした。

10月30日～11月5日、アメリカ西海岸地方へ海外視察研修してまいりました。秋も深まり冬へと季節が変わる頃、空知管内青年部より16名の盟友が参加し、千歳空港より成田空港を経由しサンフランシスコへ9時間のフライト。サンフランシスコに着き、休む間もなくシアトルへ2時間のフライトをし、1日目は移動で終わりました。夜食の場で自己紹介をし、初めて会った仲間と共に緊張の中、交流を深め翌日からの研修を向かえました。

視察1日目（10月31日）、海外視察研修の最初の視察先である「フシントン州立大学農業普及研究所」を訪問しました。ここでは農業に関する基礎的な研究・実践が行われており、研究所を卒業した生徒に農地を貸し出す「スモールファームプロジェクト」という実践の場を提供する農地を完備していました。1エーカー（4反）を基本に農地を貸し出し、自立した営農ができるようにする事が目的。プロジェクトが卒業から自立までの就農支援の役割を担っており、大企業の寄付により運営を行っているなど、農業者を育てていく姿勢が大変興味深かったです。研究所近くには日本向けの種子を生産している、サカタの種苗の工場があり、ほうれん草・キャベツなど

の種子を作っていました。シアトルの農風景は北海道の十勝地方によく似ており、

スケールの大きさを肌で感じ、農業の大規模化が進んでいる事を実感しました。バスに乗り次の訪問農先である、有機野菜を栽培・販売している畜産農家を訪問しました。15年前から畜産を中心に取組み、すべてを加工し冷凍販売していました。始めた当初は周りの理解がなく苦労したとのことですが、今ではシアトルで一番の有機農家になり、アメリカ人の有機農産物に対する理解・認識を定着させた農家だそうです。奥さんは日本人で丁寧な有機農業の取り組み姿勢を話して頂きました。「農産物をプロデュースすることが大事」「女性目線で物事を考え、付加価値を付け販売する」「農業者は生産者であることに誇りをもち同時に経営者としての感覚も身につける事が大事」と農業に口マンをもつことが大事であることを学び感じました。

またバスに揺られ、次に「ボーイング社工バレット工場」を視察しました。ボーイング社といえば旅客機を製造しており、ボーイング787型の新型から旧型まで、流れ作業のように製造されていますが、間近で機体の大きさを見ることができ圧倒されました。敷地はギネスに登録されるほどの広く、敷地内には高速道路が走っておりボーイング社用の出入り口があるほど。工場勤務の従業員は1回3万人が交代し、プロックごとに時間差で帰宅するそうです。飛行機が大きくなるにつれ工場も大きくなっていったそうで、工場一つの入り口はフットボールのコートよりも長く、それが5～6プロックはありました。工場内の従業員はTシャツにジーパン、飲み物を片手に自転車移動、工場というより街の中で生活しながら働いている印象でした。

1日目の最後の視察先「パイププレイスマーケット」に着いたのは夕方。シアトルで長い歴史をもち、野菜や魚貝類を中心に対面販売を行っている市場で、長年シアトル市民や観光客から親しまれている市場だそうです。売り手と買い手のコミュニケーションが取れる場として、市場は賑わっていました。

次の日はまた飛行機でサンフランシスコへ移動。この日はゴールデンゲートブリッジ、ツインピークス等、サンフランシスコで有名な観光名所を巡りました。天候に恵まれ暑い日差しを感じながら視察2日目(11月2日)サンフランシスコよりバスに揺られること2時間、スクラメントにある「スクラメントファームビュロー」を訪問しました。ファームビュローは1917年設立された団体で、スクラメントの約3600の農家、カリフォルニア州53郡でも約7万の農家が加盟する大きな団体組織で、農業者が中心で活動をしている団体であるが、利益を求めず農業への理解と経営を、情報誌、新聞等を発行し農業の今置かれている現状を一般消費者への伝える役目を担っているそうです。組織は会員制を導入し正会員・非正会員を設けており、消費者は非正会員として受け入れ、色々な得点をつけ消費者へ農業の理解の輪を広げ、会員同士で年一回組織会議を開き、生産者同士の意見交換の場を設け交流しているそうです。若い青年の育成にも力をいれており、すぐれた若者には助成制度、代表者はアメリカ連邦協議会へ出向き議員との意見交換を行っているとのことでした。

午後より稲作農家「スパングラ農場」を訪問。春先の天候不順の影響により収穫が遅れていたそうですが、大型コンバインによる収穫作業を見学ができました。1800エーカー(720町)を所有しており規模の大きさをマジマジと感じました。春の播種作業、肥料の散布等すべてセスナによる空中から作業で、請け負う業者に委託しているそうです。圃場は簡単に起こし、ポンプアップで水をいれセスナからのばら撒きで十分だそうです。病気も日本とは気候の違いからほぼ病気はでないそうです。ストリッパーという機械を搭載したコンバインによる収穫で、稲の穂先だけをそぎ採る収穫方法で、従来のコンバインの2倍以上のスピードで収穫していました。

排出作業も走行しながら同時に行っており時間と作業の効率をよくしていることが見受けられました。

籾の乾燥は、自然の風を大きなタンクに送り込むだけの簡単なもので燃料代は全くかからないとのことでした。圃場1枚がとても大きく畦際の刈り残しやこぼれた籾が多く見られましたが問題ないとのこと。刈り残しは、現地に住む貧しい人々に無料で刈り採りをさせて差し上げており、こぼれた籾は、また圃場に水をはり、渡り鳥のエサにし狩猟の場として有料で貸し出しをしているそうです。規模の大きさと貧困の差がある広大な地方だからできることと感じました。

研修3日目(11月4日)サンフランシスコより南へ2時間、サリナスにある有機野菜農家を視察しました。ここでは40町ほどの農地を家族3人で経営し、主に苺と南瓜を作り、直売店もしながら有機栽培をしていました。直売店にはアトピーや持病をもたれた消費者が多く来られるそうで、有機栽培による無農薬で作られた農産物は、価格が慣行栽培より倍の価格でも需要があるとのことでした。

しかし有機栽培での畑は雑草が多く見られ、苗も小さめで実はまばらにしか実っており収量は少ないとのこと。一方、慣行栽培の畑は欠株もなく葉っぱも大きい苗で病気も少なく、苺の実も大きく実っていました。収量の差は大きくあるが、近隣の大規模農家に負けない営農をするには、手間がかかり収量が少なくても今後有機栽培はやり続けていくとのことでした。

見渡す限り広大な大地を横目に、研修最後の訪問先「アメリカ農機具メーカー」ジョンディアを訪問しました。カリフォルニア最大のディーラーで創業は1948年、家族経営から始めた農業機械専門の販売店でしたが、今ではアメリカ国内9州で50店舗を展開し、農業、建築、園庭、トラックに必要な機械、部品等を扱っているとのことでした。日本ではなかなか見ることができない大きなサイズの車体、農機具が並んでおり、価格も車体もアメリカサイズで、我々16名は1番興奮した訪問先となりました。

研修最後の夜は、研修先で学んだ事と、みんなで過ごした期間を振り返り楽しく過ごしました。翌日、帰国には11時間のフライトを

要し帰ってきましたが、日本へ着くと皆が揃って「ラーメンが食べたい」の一言。やはり食事は日本食が恋しかったです。

今回の研修でアメリカの広大な大地と規模の大きさ、環境、農業への取り組み、考えの違いを感じました。目で見ても、肌で感じたことを自分達の営農に少しでも行かせるよう努力し、若き盟友達に伝えていくことのできる経営者になれるよう今後頑張っていきたいと考えています。

最後に海外視察研修の実施にあたり、そちら南農協をはじめ、盟友、空知青年部連合会・農協観光の関係各位の皆様、また家族のご理解・ご協力頂きました事を心よりお礼申し上げます。皆様のご協力を頂き充実した実りのある研修に参加できたことをご報告させていただきます。



新施設の完成を祝う

小麦貯蔵施設竣工式

5月中旬から建設工事が進められていた栗山地区の小麦貯蔵施設が11月末に完成し、12月7日に竣工式が執り行われました。

竣工式には椿原栗山町長を始め、町内外の農業関係団体の皆さんや生産者の皆さん、建設工事関係者など70名近くの方々にご出席いただきました。

完成した貯蔵施設は、高さメートルで500t収容のサイロが8基設置されており、保管場所が集約されることにより運賃・人件費の軽減と時間短縮は勿論のこと、品質の均一化と安定供給、作付面積と収量の増加にも対応し、フォークリフトの削減や操業日数の短縮などの効果も見込まれています。

操業が開始されるのは7月下旬に秋小麦が出荷されてからになります。が、この貯蔵施設がフル稼働するほどの豊作を期待したいものです。



テープカットの様式



関係者を招いての竣工式

経営について学ぶ

年末に各種講座を実施



12月2日 いろは塾



原価計算の基礎を説明する
飯坂氏（むらぎ経営）

1年間の営農を総括して来年度の計画を練る時期になり、12月上旬に様々な講習会が開催されました。まず、12月2日には第6回JAそらち南営農いろは塾「農業経営管理のいろは」が開催されました。

営農部農業振興課の高田職員が講師となり、所得税の基礎、クミカンの基礎、農業簿記の基礎の3項目が説明されました。特に、農業簿記の基礎では会計の流れや手続きをはじめ、様々な取引の仕訳方法と各勘定科目への転記、決算整理などが重点的に時間をかけて説明され、出席された皆さんも真剣な表情で講義に耳を傾けておりました。

続いて、12月6日にはステップアップのための経営セミナー「原価計算の基礎」が開催されました。原価計算の定義や目的などが説明され、また、簡単な例題を解いたり原価計算表作成の手順などについても述べられました。

12月7日にはソリマチ農業簿記操作研修会が開催され、ソフトの初期設定からはじまり、減価償却資産処理、仕訳入力処理などを実際にパソコンで操作し、ソフトの概要について学びました。

年末年始の準備

女性部がしめ縄を作成

12月1・2日、女性部がJA本所1階第3会議室において、毎年恒例のしめ縄の作成を行いました。

国産のスゲを材料に、神棚用の三俵・五俵・七俵のお飾りや、玄関用のお飾りなどおよそ100個を作製し、作成したしめ縄は、正月に会員宅に飾られ、一部はJA本部にも寄贈されました。

同サークル代表の西岡照世さん（大井分）は「今年は災害や農作物の不作などであり良い年ではなかったけど、来年は良い年となるよう願って心を込めて作りました」と話していました。



作成中の様子



完成したしめ縄と共に

平成 24 年度 営農計画書及びクミカン物的保証締結集中受付の実施について

1. 日 時：下記の日程表の通り、ご連絡いたします。
2. 持ち物：平成 24 年度営農計画書・クミカン登録印・物的保証に関する書類等
3. 注意点：営農計画書は、各自事前にご記入のうえお越してください。
データ入力をされた方につきましては、各自印刷のうえお越してください。

【栗山地区】

日付	場所	時間	対象地区		
1 月 23 日 (月)	本所 大会議室	9:00 ～ 12:00	栗山 富士 中里	桜丘 湯地	山の手 森
		13:00 ～ 16:00	鳩山 緑丘	雨煙別	昭和
9:00 ～ 12:00		北学田	桜山	旭台	
13:00 ～ 16:00		杵臼			
9:00 ～ 12:00		共和 阿野呂	三日月	角田	
13:00 ～ 16:00		大井分	南学田		
1 月 26 日 (木)		9:00 ～ 12:00	継立	日出	御園北
		13:00 ～ 16:00	御園 1 円山 東山	御園 2 滝下	南角田
1 月 27 日 (金)		9:00 ～ 12:00	予備日		
		13:00 ～ 16:00	予備日		

【由仁地区】

日付	場所	時間	対象地区		
1 月 23 日 (月)	由仁支所 大会議室	9:00 ～ 12:00	山形	古川	伏見
		13:00 ～ 16:00	下古山	山楨	
9:00 ～ 12:00		中岩内	古山		
13:00 ～ 16:00		上岩内	下岩内		
1 月 25 日 (水)	由仁集落 センター	9:00 ～ 12:00	西三川	熊本	
		13:00 ～ 16:00	本三川	中三川	
9:00 ～ 12:00		東三川東	川端		
13:00 ～ 16:00		東三川南 東三川北	東三川平成 東三川中央		
1 月 27 日 (金)	由仁支所 大会議室	9:00 ～ 12:00	予備日		
		13:00 ～ 16:00	予備日		

あんしん

JA共済のお見積り

JA共済



実感キャンペーン

『ひと・いえ・くるま』の一括見積りで上手に保険料を節約！

今なら

お見積りいただいた方に

アンパンマンオリジナルグッズ

または、みなみちゃんタオルをプレゼント！



みなみちゃんタオル



アンパンマングッズ

お子様に大人気！
「アンパンマンストラップ」

- ・上記プレゼントは、現在ご加入の保障内容について相談いただいた方に限ります。
- ・お見積もりいただいた共済種類・共済掛金により賞品が異なる場合があります。
- ・詳しくは共済担当者までお問い合わせ下さい。
- ・お見積りの賞品はいずれか1点とさせていただきます。

『本当に比べるだけだけど…見積りお願いしていいの？』

『今入ってる保険の内容…わかんないって言ったら調べてくれる？』という方、もちろんOKです。さらには…

『子供がアンパンマン欲しいって言うんだけど…』というアナタも！

理由は何でも大歓迎！

お見積りは何件だって**タダ！**なんです！

この機会に『ひと・いえ・くるま』の一括見積りをご依頼ください！

お問い合わせは…

JAそらち南

本 所 TEL: 72-1406
由仁支所 TEL: 83-2322

11010504048

第37回 Aコープチェーン農協連合展示会

新春 華秀苑 大総合展

◆と き／平成24年1月20日(金)～23日(月)

【営業時間:AM 9:00～PM 9:00 23日は午前中まで】

◆ところ／登別グランドホテル 3階大会場

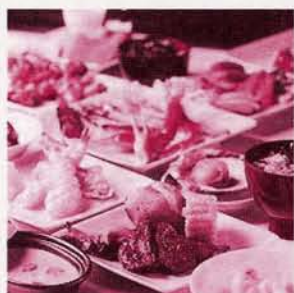
当農協のバス誘致日は1月20日(金)です。

*バス時刻等はAコープ係員がご案内致します。

きもの・婦人服・宝飾の祭典

【同時開催】コート・バッグ・メガネ・オーダー靴

参加ご希望の方はAコープ店にお申し込み下さい



■主催／Aコープチェーン・北海道

■後援／ホクレン 協賛／華秀苑(株)ダイカ

ご参加者特典

■登別グランドホテルに1泊ご招待致します

但し、宿泊費一部ご負担いただきます。(当日会場にて)

●宿泊の方・・・5,000円(土曜日は6,000円) *日帰り無料

*通常3人～4人で1部屋です。(2人部屋もあります)

■会場までバスにて無料送迎致します

■84,000円以上お買上の方に負担金全額返金

■夕食バイキング・歌謡ショー・お楽しみ大抽選会

*1月21日・22日参加ご希望の方は個人参加となります(Aコープ店にお申し込み下さい)

年末・年始の営業時間のお知らせ

	12/30 (金)	12/31 (土)	1/1 (日)	1/2 (月)	1/3 (火)	1/4 (水)	1/5 (木)	1/6 (金)
一般業務	正午まで	休日	休日	休日	休日	休日	休日	通常
金融店舗	16:00 まで	休日	休日	休日	休日	通常	通常	通常
A T M	通常	休止	休止	休止	休止	通常 三川出張所は 15:00 まで	通常	通常
給油所	通常	16:00 まで	休日	休日	休日	初売り 15:00 まで	通常	通常
Aコープ店舗	通常	16:00 まで 継立店休業	休日	休日	休日	初売り 15:00 まで 継立店休業	通常	通常
直売所	通常	休日	休日	休日	休日	休日	休日	休日

*直売所は1月10日から営業

各種事故・トラブルに発生時の連絡先

	年末年始休業日 (31日～3日) および営業時間外	営業時間内 (4日～)
ご契約のお車の 事故やトラブルに 遭われた際の連絡先	J A 共済事故受付センター フリーダイヤル ☎0120-258-931	本 所 共 済 課 ☎72-1406 由仁支所金融共済課 ☎83-2322
キャッシュカード 盗難・紛失の際の 出金停止など	北海道信連システム運用課 フリーダイヤル ☎0120-944-904 (31日のみ受付、1月1～3日休業)	本 所 金 融 課 ☎72-1392 由仁支所金融共済課 ☎83-2322 継立出張所金融係 ☎75-2226 三川出張所金融共済係 ☎87-3036

定年退職にあたり、一言お礼申し上げます。
私こと、この度12月末日をもちまして定年退職致しました。
顧みますと、昭和60年より3年間臨時職員の後、旧栗山町農業協同組合に奉職以来23年9ヶ月の永きにわたり組合員の皆様をはじめ、歴代役職員方々の温かいご指導、ご厚情を賜りその職責を果たすことが出来ました事、心より感謝とお礼を申し上げます。
今日の農業・農協を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、さらに環太平洋経済連携協定(TPP)問題等厳しい状況が続いておりますが、組合員・役職員の皆様が一丸となってこの難局を乗り越えて頂きたいと願ってやみません。
今後は、皆様方から賜りましたご厚情とご教訓を大切にし、これからの人生を有意義に過ごして参りたいと思います。
最後になりましたが、組合員皆様のご健勝とそちら南農業協同組合の益々のご発展を心よりご祈念申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。



販売部米麦畜産
調査役
石田 清

退職のご挨拶

新春お楽しみクイズ

豪華賞品が
当たる!



タテのキー

- 1 成人になったことを祝っておこなわれる式
- 2 OOO伝心
- 3 季節や天候
- 4 新年に門に立てる飾りの松
- 5 おせち料理などに使う大豆の一種
- 9 心臓の響き
- 11 才能や性質などを備え持つこと
- 12 元旦の日の出
- 14 風呂場
- 15 風流なおもむき
- 18 その道にたけている人
- 19 OOOが鷹を生む
- 21 冷え込んだ朝はよくこれがある
- 23 累乗

ヨコのキー

- 1 今年は2012年
- 4 果実の肉の部分
- 6 考え。意向
- 7 国家の領土
- 8 日本はおよそ1億2700万人
- 10 がんしょう。これが流れ出たものを溶岩と言う
- 12 元旦、又は2日の夜見る夢
- 13 1月の別称。特に三箇月や松の内を言う
- 16 皇室の紋章はこれ
- 17 ⇄速筆
- 20 ライオン。〇〇舞
- 22 話がうまくよくしゃべること
- 24 新年に神社などに詣でること
- 25 表面からは知りにくい微妙な心の動き

大賞

ペア温泉宿泊券1組!

- ★お年玉特賞 商品券5千円2名
- ★お年玉賞 商品券3千円1名
- ★お小遣い賞 商品券1千円5名

〈応募方法〉

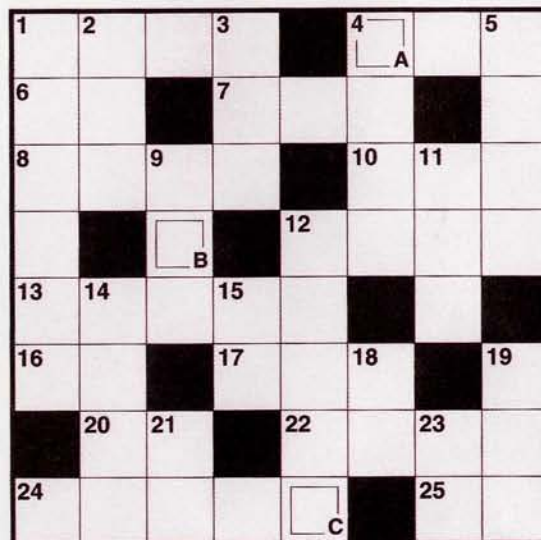
官製ハガキに答え、住所、氏名、年令、組合だよりの感想をご記入の上、JAそらち南「お年玉お楽しみクイズ」係まで応募下さい。

〈締め切り〉

1月13日(金) 必着です。

〈当選発表〉

2月号の誌上で発表します。



答え

A	B	C
---	---	---

ヒント：旅立ち、船出

1月2月の売り出し予定 Aコープ

初売り特典

1月

- 4日…Aコープ新春初売り
- 6～7日…Aコープ新春旬鮮市
- 10～11日…Aコープダイナマイト2day's
- 13～14日…Aコープお買い得市
朝市(10時～正午)
- 17～18日…Aコープ88円均一
- 20～21日…Aコープお客様週末感謝祭
- 24～25日…Aコープ得の市
- 27～28日…Aコープ本決算前大処分
朝市(10時～正午)

2月

- 3～4日…Aコープ月初め大市
- 7～8日…Aコープダイナマイト2day's
- 10～11日…Aコープお客様週末感謝祭
朝市(10時～正午)

 **A・COOP** 由仁店・三川店
○三川店…毎週日曜日休み

1月4日、Aコープ初売りにお越しの
お客様で、**2,000円以上お買い上げ**
の方に、由仁店三川店合わせて
先着200名に卵1パックプレゼント!

お誘い合わせの上、
是非お越しください。



営業時間変更のお知らせ

平成24年2月1日(水)より本所・支所事務所の営業日・営業時間が下記の通り変更になります。

組合員の皆様におかれましてはご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

曜 日	月 ～ 金	土日祝日
営業時間	8:30～17:00	休 日

*農産物集出荷最盛期、生産資材需要最盛期等には別途対応致します。時期毎の営業日・営業時間の変更については、当JA広報誌でお知らせいたします。

あけましておめでと
うございます。本年も
よろしくお願い申し上
げます。
今年も組合員皆様
のご協力を得ながら、よ
りよい紙面づくりを心
がけようと思います。
ご協力の程、よろし
くお願いいたします。

編集後記

- 4日 Aコープ初売り
- 金融部業務始め
- 給油所業務始め
- 6日 一般業務始め
- 16日 企画会議(予定)
- 19日 第13回理事会(予定)
- 26日 第14回理事会(予定)
- 31日 決算棚卸(予定)
- 辞令交付(予定)

1月の行事



そらち南 くみあいだより

2012 新年号 Vol. 36

※次号(2月号)は、2月10日発行です。

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷